

豊大

題字 加藤精一 猥下

第155号

www.bussei.gr.jp

聞・思・修

真言宗豊山派仏教青年会
第43回全国結集愛媛大会

「お大師さまとともに」

全真言宗青年連盟

第36回結集讃岐大会

聞思田心祭

お大師さまとともに

寒さが一段と厳しくなってきた12月3日・4日、真言宗豊山派仏教青年会第43回全国結集愛媛大会が「聞思修（お大師さまとともに）」という大会テーマの下に開催された。

1日目は開会式の後、四国八十八箇所靈場第47番淨瑠璃寺から歩き遍路を実施。移動のバスの中で愛媛仏青作成の「衛門三郎」が上映され、遍路への思いを馳せた。淨瑠璃寺では特別にご本尊さまの目の前まで行き拝観することができた。

第47番淨瑠璃寺では全員が火渡りを体験しました。この頃から風が強く吹き出し、降り出した霧雨はみぞれになり、次の西林寺までの約5キロの道のりは、まさに修行の一言であつた。そんな天候の中でも、歩き遍路をしている私たちに合掌をしてくれる方がいた。

今回の結願、第48番西林寺に到着後、愛媛支所仏教婦人会の皆様よりいたいたいお接待、特に豚汁は私たちの凍えた体だけではなく、心も温めてくれた。



第43回全国結集愛媛大会運営部長 森脇宥海

まずはご参加くださいました方々、ご支援くださいました各方面の方々に御礼を申し上げます。今回特に心掛けたことは、テーマと企画に関連性を持たせること、成果を残すこと、既成の結集概念に囚われないこと等でした。

ディスカッションも新しい試みでしたが、とても大勢の方に参加いただけたため、色々想定し運営方法を練つて臨んだことは、取り越し苦労であつたり、逆に円滑な議論を妨げたとも思います。運営委員としては申し訳なくも、嬉しい悲鳴でした。議論をもっと続けたかったとの声で、何か及第点は戴けたかと思います。

諸々の至らなかつた点は、次回以降の結集で是非活かしていただきたいと思います。

宗学研究所研究員 舎奈田智宏

葬式仏教とは何か、分かつているつもり以外と分かつていないことだつてします。今回の役目はこの葬式仏教とは何かを、さらにここ数年間の傾向についても皆さんに理解と確認をしていただくことが役割でした。我々僧侶の日頃行っていることが、そのまま評価にも批判にもなるということ、そして最近の傾向として葬式仏教批判よりも、寺院の経営難に問題の焦点が当たられていることが、少しでもご理解いただけたなら幸いです。

現代教化研究所常任研究員 守祐順

葬式仏教を考える場合には、ふたつの視点が必要です。ひとつめは「より良い葬儀」。戒名や調文から住職が故人の為に特別な準備をしてくれたと感じられる事と、しっかりとした読經や作法による伝統的ゆえの安心感、このバランスが大切です。

もうひとつの視点は「葬儀以外の活動」です。これは僧侶によって違つてよいので、実際に活動することが何より大切になつてきます。具体的な案に至つてもらうための資料を提供しました。

事相研究所研究員 三津田辨範

皆さんに議論していただいたかったのは、引導作法と戒名についてです。真言宗の葬儀の肝要は引導作法です。時間や場所の制限がある中で、いかに引導作法を修するか、先師の口訣を紹介させて頂きました。また、引導や戒名の意味をお檀家さんに知らしめることも重要です。是非、その様な機会を作つていただきたいと思います。

今回のディスカッションが、葬儀の形態や死生觀が変化する中で、我々が大切にすべき事を考える一助になれば幸いです。

布教研究所研究員 田中宥弘

「葬式仏教」の捉え方は、地域差や寺院規模の大小でも変わつてくるのが現実でしょう。その中で変わらないのは「僧侶がいる」ことです。現状で何ができるのかはもちろんのこと、その前段階として、僧侶自身の立ち振る舞いに改善の余地はないのかが、考えていただきたいことでした。

今一度、置かれている環境ではなく、自身を見つめ直すことができれば、これからをささえる青年僧侶の糧となるのではなないでしょうか。

守祐順常勤研究員、布教研究所田中宥弘研究員が登壇し、「葬式仏教」をキーワードに各々意見を述べられた。

佐伯コーディネーターと4名のパネラー（パネラーの私見、資料をもとに各テーブルでのディスカッション、その後テーブル代表によりディスカッションの内容の発表があつた。話足りないと語る参加者が多く見られるほど盛況のうちに、パネルディスカッションは幕を閉じた。

森脇宥海氏にはディスカッション運営担当者としての思いをお書きいただきました。また参加者に回答いただいたアンケートの一部結果を掲載します。今後の仏青活動などの参考になれば幸いです。



司会・コーディネーター 佐伯 真範

葬式仏教と否定的に揶揄されてきた中、大部分の寺院が、葬式による布施収入無しで寺院を維持運営できないのも事実である。それならば、我々は自信を持つて、かつ檀

平素より豊山仏青の活動に多大なるご理解・ご協力を賜りまして、衷心より御礼申し上げます。

さて、本年3月末日を以て第三十代豊山仏青会長としての任期満了を迎えていたきました。任期中には宗派ご重役並びに宗内外諸大徳、関係各位より賜りましてご教示・ご鞭撻の程、心より感謝申し上げます。

振り返りますと、國らも会長の任をお受けしました当初、東日本大震災の甚大な被害に加えて、放射能漏れなどによる風評被害を含む2次・3次被害が広がっていました。収束を見ない状況であるにもかかわらず、発生より数年が経過したことによって震災の記憶が風化しつつあります。収束を見ない状況でありますように、「復幸～お大師さまとともに～」と題し、幸いなことに前任であります花園昌道会長からの継続事業として、「復幸～お大師さまとともに～」と題し、復興への継続的支援の必要性を訴え、被災された皆様の笑顔が見られるよう祈念するチャリティーコンサートを

真言宗豊山派仏教青年会第三十代会長 根本 聖道



第三十代会長退任挨拶

開催するに至りました。公演に際しては、檀信徒を中心

4000名以上のご来場と、宗内寺院各位より多大なる

ご協賛・ご寄付を頂戴し、被災東北3県へ合計2000

万円を超す義援金をお届けする事が出来ました。

これは多くの先輩諸師にお見守りいただきながら、準

備に力を尽くした多くの会員の努力や忍耐の賜物であ

ります。メディアにおいて多くの僧侶が出演するほか、御

朱印や寺社がパワースポットとして取り上げられるなど、

今、社会から大きな注目が注がれている結果であるとも

思えます。

そうした中で、宗祖弘法大師への信仰は篤く、四国八十

八ヶ所靈場開創1200年を迎えた四国（愛媛県松山市）

にて開催しました豊山仏青第43全国結集においては、大

会テーマを「聞思修」と掲げ、これまで多かった講演形式か

ら参加者同士でのディスカッション形式を取り入れまし

た。地元愛媛仏青で組織された実行委員会の素晴らしい

大会運営により、会員同士で語られた仏教界に対する諸

問題への思いや考えは、新しい成長への手がかりをつかむ一助

になったことと存じます。

通年事業といたしましても、写仏講座・ホームページ運

営・豊山太鼓「千響」の活動など、会員の皆様のご理解と

ご協力がなければ成し得ませんでした。任期中、やり遂げ

たことは少ないですが、支えて下さいました執行部役員や

理事・会員の皆様と、このような多くの事業に参画出来ま

したことは、巡り合わせとはいえ、非常に幸運であったと考えております。

豊山仏青はお大師さまのみ教えのもと、個別の利害を

超えて、仏教精神の高揚と実践と共に行動する場であり

ます。今後も積極的なご参加とご尽力をお願い致します。

最後になりましたが、ご支援に心より感謝申し上げます。

ともに、豊山仏青とその会員皆様の方のますますのご発展

をご祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

合掌



愛媛結集アンケート

1. 大会テーマ「聞思修～お大師さまとともに～」に則った企画だと思いますか?

①歩き遍路について	そう思う	まあそう思う	普通	あまり思わない	思わない
歩き遍路について	43	5	0	1	0

2. ディスカッションについて

②ディスカッションについて	そう思う	まあそう思う	普通	あまり思わない	思わない
ディスカッションについて	37	8	2	2	0

3. 歩き遍路について

①企画としてよかったです?	そう思う	まあそう思う	普通	あまり思わない	思わない
歩き遍路について	35	10	1	0	1

4. 何か感じたことや明日からの活動で意識しようと思ったことなどあればお聞かせください。

- 自然の中、山々を望みながらお遍路をさせていただき、最後にお接待を受けてとても有難く、人々の心の温かさを感じた。
- 普段歩いている道は何があり、どのような景色であるかを意識したいと思う。
- 四国遍路の団参を計画したいと思った。
- 歩き遍路の企画について何でも感想をお聞かせください。
- 柴燈護摩はあまり経験する事がないので、貴重な体験ができた。
- 火渡りがよかったです。
- お接待とても感動しました。お遍路やってみようかなあとと思いました。
- 悪天候ではありましたが、歩き遍路ができたよかったです。
- 皆が好き勝手歩いていたので少し整列して歩ければよかったです。
- もう少し各寺院の話を聞きたかったです。特に礼始めの話はお寺で聞きたかったです。
- 天気もあり、私は余裕もなかったので良いイメージになりませんでした。

5. ディスカッションについて

③ディスカッションについて	企画としてよかったです?	そう思う	まあそう思う	普通	あまり思わない	思わない
ディスカッションについて	40	7	4	0	0	0

6. 何か感じたことや明日からの活動で意識しようと思うことなどありましたか?

④何か感じたことや明日からの活動で意識しようと思うことなどありましたか?	たくさんあった	少しあった	ほとんどなかった	なかった
感想について	32	18	1	0

7. ディスカッションの企画について何でもご感想をお聞かせください。

- 自分自身で考える時間が多く、この会に参加していると強く感じることができた。
- 今の時代に合ったものだと思う。ただ、結論や特効薬がない話なので、継続して議論する場が欲しい。
- 聞くだけでなく、意見を出し合って考えをまとめてより良いものが生まれてくる可能性を感じた。
- 1日目の集中力があるときにディスカッションして見たかった。
- 両日ともにディスカッションだと夜も盛り上がり、翌日も人が減らないのかも。
- テーマが大きすぎるので、もう少し絞って欲しい。
- 事前に資料をいただいて考えをまとめて参加したかった。
- 時間が足りなかった(8名)

8. 大会全体の評価

⑤大会全体の評価	よかったです	まあよかったです	普通	あまりよくなかった	よくなかった
評価について	42	8	1	0	0

9. 改善すべき点や、その他について何でもご記入ください。

- スタッフの人が多くいたと思いますので、スムーズな運営ができた方が参加者にはよかったです。
- ディスカッションのグループごとの話し合いの時間がもう少しあるとよかったです。
- 休憩を挟んで、もっと長い時間でのディスカッションであれば最高でした。
- 「攻め」の姿勢を感じる楽しい結集でした。
- 事務局の皆様の本気が強く感じられた結集でした。深く深く感謝申し上げます。
- 準備を含め御苦労があったと思います。お疲れ様でした。

平成二十七年度
豊山仏青災害救援基金御芳名

ここに、ご協力をいただきました御寺院名を掲載し、各位に心より厚く御礼申し上げます。

16	15	14	8	1	253	244	243	240	29	12	9	8	211	208	175	173	171	168	102	93	3	324	301	294	272	261	260
日	無	正	寶	光	應	弘	滿	正	東	多	醫	真	清	光	延	定	宝	大	円	西	光	真	大	即	真	國	妙
永	量	法	幢	明	正	光	福	福	福	聞	王	福	福	明	命	福	聖	王	福	福	明	福	行	清	分	光	空
寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	院	寺	寺	寺	寺	寺	寺	院	寺	寺	寺	院	寺	寺	院	寺	院	閣	
29	28	22	21	20	343	297	286	53	51	50	31		270	233	230	223	222	126	119		330	327	278	276	273	272	
延	廣	長	東	長	菩	本	普	慈	廣	金	光	実	永	延	龍	東	光	金		三	延	法	東	円	太	陽	
命	德	福	漸	德	薩	性	門	眼	德	乘	藏	相	明	命	藏	耀	明	剛		光	命	音	福	通	寺	寺	
寺	院	寺	寺	寺	寺	寺	院	寺	院	寺	院	院	寺	寺	院	寺	院	院		院	寺	寺	寺	寺	寺		

平成27年11月10日・11日、真言宗善通寺派総本山善通寺にて開会式、法会を行われた。遍照閣の開会式後、御影堂にて十八本山掛け軸法要、結集記念法要がそれぞれ厳修された。お大師さま御生誕の地にて、200名を超える青年僧で賀える吉明、理恵隆は少しも催された。

ずつ唱え方が異なる部分もあるが、力強い響きは圧巻であり、ひとつにまとまるるすばらしさを再認識できた。

あつた。舞の海秀平先生は有名な新弟子
検査から現役を退いた現在までに至つた。
特に相撲・稽古に対する思いや怪我を乗
り越えた話は、住む世界が異なるが我々
にも通じるところを感じた。



全真言宗青年連盟 第36回 結集讃岐大会

於 真言宗善通寺派総本山善通寺・高松国際ホテル

写仏講座



豊山仏青では写仏講座を行つております。
興味のある檀信徒さまがいらっしゃいます
たら、是非ご案内ください。

平成28年

5月13日(金)
6月10日(金)
9月9日(金)
10月14日(金)
11月11日(金)
12月9日(金)

午後1時より宗務所にて

詳細につきましては豊山仏青ホームページを
ご覧ください。

また豊山仏青ホームページ、写仏講座の
中の「写仏を体験してみよう」では、体験
コーナーをご用意しております。なぞつて
みたり、お子さまの塗り絵としても、ご活
用ください。

編集後記

今号で2年間の担当が終わります。

「2年間、豊友を担当してどうでした
か?」と聞かれたら、まず、「1年で2号発行
でいいんじゃないですか(笑)」と答えます。

続けて「自分では変えたつもりでいるけ
ど、開けられずに捨てられているのかなとか
よく思います」と。

だけど、これから豊山仏青を担う新入
生を表紙にしちゃったり、福島の実情や各
仏青の活動を掲載できたのは良かったなど
思っています。

ご多用の中、快く執筆、写真の提供、ご意
見を頂戴できて、また多くの方に支えら
れ、おかげさまで2年間の編集担当という
お役を終わることができました。ありがとうございました。
引き続き豊友をよろしく
お願い申し上げます。

青木 宏憲

写仏講座・千響チャリティー演奏は



Facebookページ

www.facebook.com/buzanbussei



豊友155号

平成28年5月11日 発行

発行人 根本聖道

発行所 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目40番8号
真言宗豊山派総合庁舎内 真言宗豊山派仏教青年会

制作 マエゾノデザイン

豊友お問い合わせ先

info@bussei.gr.jp